

【学校生活、寮生活について】

1. 保護者が学校に出向く機会は、年に何回ほどありますか？

入学式や入寮で荷物を運び入れるとき、卒業式や退寮で荷物を運び出すときなどを除きますと、7月（夏期休業前）の『三者懇談』については、原則として保護者の方に来校していただきます。また、『授業公開』『体育祭』『文化祭』等で保護者あてに参加希望のご案内を送付します。その他、生徒指導上必要な場合や、寮生が体調不良で帰宅する必要がある場合などがあります。

2. 病気になった時の対応方法、医療機関の受診、保護者の迎え等について。

寮生の体調不良時は、学校の保健室へ登校し、必要に応じて近所の診療所等を受診します。感染症の陽性等が判明した場合は、寮での感染拡大を防ぐためにも、保護者に迎えをお願いしています。軽度な体調不良でも、それが長く続くときは一時的に帰宅することを進めています。

軽い怪我で、保健室の応急処置で済むときは良いのですが、大きな事故・怪我などがあった場合は、救急搬送の出動を要請することもあります。その場合、保護者に状況を連絡し、搬送先の大型病院（大台町内または松阪市内）にて情報を共有し、入院や自宅療養となる場合は引き渡します。

3. 定期的な歯科健診やアレルギー薬の処方について、在校生はどのようにしていますか？

週末等にあわせて帰宅して地元のかかりつけ医に診察を受ける生徒、ＪＲ三瀬谷駅から50分程度で移動できる松阪市で病院をみつけて処方をうける生徒など様々です。

4. 週末の過ごし方。県外生徒は週末どう過ごしていますか？

生徒によってさまざまな過ごし方をしています。閉寮日以外の週末は、寮でも三食の食事が提供されます。部活動がない場合は、寮内で過ごしたり、アルバイトをしたり、松阪市などへＪＲを利用して出かける生徒もいます。また、金曜日の放課後に帰宅して、日曜日に帰寮する生徒もいます。

なお、外出する場合は、寮事務室にて手続き（居所届の記入）をして、19時30分の門限までに帰寮することが原則となります。寮および自宅（保証人宅）以外の宿泊は認めていません。

5. 生活費の管理（どんな方法で渡しているのかなど）、日用品等の買い出しは可能ですか？

現金については、現金書留を寮事務室にて預かり、寮生に手渡しすることは可能です。また、郵便局が徒歩圏内にありますので、ゆうちょ銀行の口座を保護者が管理し、キャッシュカードを生徒が所有している場合もあります。いずれの場合も、紛失や盗難被害に遭わないために、現金や財布などは寮の部屋鍵とともに貸与する金庫に保管し、必要なとき以外は学校へ持っていくことが、学校へ持ちだす場合は教室の貴重品ロッカーを利用することなどを指導しています。

日用品等については、最寄りの小型スーパーで手に入らないものは、町民バスで10分ほど移動したＪＲ三瀬谷駅周辺にあるスーパーマーケットやドラッグストアで購入したり、オンラインショッピングなどで購入したり（寮事務室で引き渡し）しています。

6. 生徒寮きら独自のルール、規則などがありますか。

安心安全な寮生活、規則正しい生活を守るため、寮則に基づいて指導をしています。

主なルールや禁止項目について、その一部を紹介します。

- 19時30分門限。毎日20時30分に集合点呼、諸連絡や学習タイム、清掃活動を行う
- 23時消灯（防犯・防災のため、消灯後にベランダや他人の部屋にいた場合は指導対象）
- 火事等の危険があるもの、調理器具および工具等、動物や危険を伴う玩具類の持ち込み厳禁
- 食中毒のおそれがある行為の禁止
- 転落事故や行方不明につながる、ベランダからの乗り出し行為の禁止
- 外出時は居所届を記入し、部屋鍵を寮事務室にて保管
- 登校時は遅刻厳禁、自室の窓を施錠、ブレーカーOFF。守れなかった場合は反省文等
- 男子棟への女子生徒（または）女子棟への男子生徒の立ち入り禁止
- 談話室、給湯室の使用マナーが守れない場合は、一定期間の使用禁止 ほか

特に、火災や事故につながる行為は他の寮生にも影響があるため、重大な危険行為とみなされる場合は、学校での生徒指導に加えて、期間退寮などの処分を行う場合もあります。

なお、舎監（教員）は寮務に従事し、寮生の自立した生活習慣を軸に、寮全体の指導や宿直業務を行います。寮生の体調不良時に対応したり、時おり相談相手になることもありますが、寮生一人ひとりの特性や、心身の状態に合わせた対応には限界があります。特別支援、服薬管理、医療行為等の支援は、寮生活では受けることができません。

7. お正月など、寮が閉鎖する時はありますか？

学期中に20日間程度の『閉寮日』があります。また、長期休業中（春/夏/冬休み）は『閉寮』となります。閉寮中は、原則として帰宅、または保証人宅へ宿泊して頂きます。年間を通じて、毎月1度、週末の2～4日間に閉寮日（または閉寮）があるとお考えください。

閉寮が終わる『開寮日』は、14時から開寮しており、寮生には20時30分までに帰寮して頂きます。この日は、寮では夕食から提供されます。

なお、部活動によっては、閉寮中であっても部顧問の管理で寮に宿泊（合宿）する場合があります。この時は、食費等は寮費には含まれていないため、部活動から別途徴収されます。

【寮費、経費について】

1. 寮費の見込みについて

令和6年度寮費の設定は、年額558,000円を半期納入（5月/10月各279,000円）か、月割（46,500円/月）納入するかのいずれかで、学校諸費と合わせてお支払いを頂いています。月割の場合、閉寮期間となる8月等にも納入いただくのは、年額寮費を12分割しているためです。月額寮費が該当月

の費用に充当されるわけではありませんので、ご了承ください。

なお、令和7年度寮費については、月額 5,000～10,000 円程度の値上げを予定しています。近年の物価急騰による諸経費については、最低賃金引き上げのほか、給湯・空調の燃料費（灯油）、水道費および電気使用料、食費（食材費人件費等含む委託費）等の上昇が著しく、近年つづく猛暑傾向は、熱中症予防のために冷房運転を節約することは困難な状況です。寮会計はたいへん厳しい状況が続いておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

2. 部活動によっては、夏休みや連休等も練習があると思いますが、閉寮期間も寮に滞在可能でしょうか？その際は食事の提供もありますか？

閉寮期間中は、顧問の管理下で「合宿」という形で寮に滞在することができます。閉寮中は、原則として寮の食事は提供されませんが、業者稼働が可能な場合は、三食または朝・昼食などの提供があり、提供がない場合については顧問が手配をして対応します。いずれの場合も、食費や寮の稼働費等については、寮費には含まれていませんので、合宿費等で別途のお支払いをお願いします。

3. 寮費と学校生活以外に必要な費用について

入学に関わる物品購入（制服・学習端末等）、授業料、学校諸費、寮費（寮生のみ）を超える範囲について、必要な費用をお支払いいただきます。例えば、部活動の活動費（部費、合宿・遠征費等）、個人の生活にかかる費用（交通費や小遣い、洗剤等の日用品購入等）、学年会計で賄われない系列等の研修費（スポーツ系列のスキー研修費）などがあります。また、寮生活等において、「窓ガラスを割った」「部屋の鍵を紛失した」等の過失があった場合には、修理費を寮より請求いたします。

なお、学年会計は、教材費、実習費、遠足、修学旅行、卒業アルバム等に充てられ、卒業時に精算して残額は返金されます。寮費に含まれるのは、閉寮日を除いた食費（三食）と水道光熱費です。

授業料は、年額 118,800 円です。（就学支援金を受給する場合は、全額が支給されます）

学校諸費は、は、年額 150,769 円です。主な内訳は、PTA会費、生徒会費、学年会計、教育振興費等で、学校行事の運営や教材購入等に使用いたします。学年会計は、

寮費に含まれるのは、閉寮日を除いた食費（三食）と水道光熱費です。また、入学式当日に入寮費として 30,000 円を現金にて納入いただいています。寮全体に関わる備品購入や修繕等に充てられます。

※令和6年度「入学のしおり」より抜粋

【その他】

生徒寮での生活について

①本校に、県外からの入学が認められた生徒は、4月の入学時に「生徒寮きらら」に住所変更（三重県多気郡大台町の生徒寮所在地に住民登録）して頂きます。

②山間部のため、スマートフォン等の通信キャリアによっては電波が届きにくい場所があります。寮食堂にはフリーWi-Fiが利用できますが、生活棟は学習端末用Wi-Fiのみです。



自分探しの3年間！

所在地	〒519-2593 三重県多気郡大台町茂原 48 番地 ※JR紀勢本線「三瀬谷駅」より大台町営バス(約20分)「報徳診療所」下車、徒歩 450m TEL:0598-76-0040 FAX:0598-76-0318 Email:hsubar00@mxs.mie-c.ed.jp URL:http://www.mie-c.ed.jp/hsubar/pp
通学方法	全寮制を原則とする（※大台町・大紀町・多気町在住の生徒は自宅通学も可）

学校 の 特 色	昂学園高校は、日本一の清流「宮川」と星空の町「大台町」(ユネスコ・エコパーク登録)の豊かな自然に囲まれた「三重県立」・「全寮制」・「総合学科」・「全日制」の高等学校です。 三重県内全域及び県外から生徒が集まり、特色ある5つの系列(国際交流・総合スポーツ・美術工芸・生活福祉・環境技術)で学んでいます。また、生徒寮「きらら」では、集団生活の中で、自主・自立の精神、お互いを思いやる心を学びます。
	《個性が輝く総合学科》 総合学科とは、普通科や専門学科で学ぶ内容を、生徒が自分の興味関心や希望進路に合わせて自ら選択して柔軟に学ぶことができる学科です。そのため、授業には普通科目に加えて様々な分野にわたる選択科目が開設されており、校内外での体験的な学習も充実しています。総合学科は、「自分探し」をするとともに生涯にわたって「学ぶ力(学び続ける力)」を身につけることを目的として、自己の生き方や進路への考え方を深める学習を行うことを特長としています。 1年次は共通科目を履修し、自分の適性や進路について考えます。2年次以降は5系列に分かれ、興味・関心のあることを学び、進路実現につなげます。また、1年次には総合学科の原則履修科目『産業社会と人間』で、2年次以降は『総合的な探究の時間』等で、自分の興味・関心や適性に応じた進路を見つける学習を行うなど、将来に向けたライフプランを作成します。加えて、『ハングル』や『人権と平和』等の学校独自の自由選択科目もあります。 本校には5系列(国際交流・総合スポーツ・美術工芸・生活福祉・環境技術)があります。
	《自主・自立の寮生活》…全寮制 寮では規律ある集団生活のもとで生活を送ることができます。また、行事やサークル活動など生徒を中心とした自主的な活動が行われています。学校まで1～2分であるため、放課後は部活動や学習、趣味などに没頭できる時間が多く確保できます。
	《特色ある教育活動》…単位制、90分授業、少人数教育 ○単位制、90分授業、3学期制で、ゆとりを持って、学習に取り組めます。 ○少人数の「学び合い」を大切に、きめ細やかな教育を行っています。 (HRは25人程度の3クラス編成、選択科目には5名程度で授業する授業もあります) ○韓国の姉妹校との交流等の国際交流

総合 学 科 の 5 系 列	○国際交流系列…データサイエンス等の学びを活かし大台町についての探究活動を深める中で、実践的な力を身につけた次世代の担い手となることを目指します。 ○総合スポーツ系列…生涯スポーツにつながるニュースポーツや野外活動等の理論・実践を通じて、知識と技術を身につけ、様々なスポーツの指導者等を目指します。 ○美術工芸系列…絵画・デザイン・立体造形等を基礎から学び、自分の表現の可能性を追求しながら、美術工芸で社会をより豊かにする力を身につけます。 ○生活福祉系列…福祉全般の知識・技能を学び、高齢者を含めた、誰もが住みやすい社会を創造することができる人材を育成します。 ○環境技術系列…野菜作り・木材加工・林業保全に関わる学習を行い、持続可能な資源とは何か、校外学習や講師先生を交え、自発的な人材の育成を目指します。
----------------------------------	--

令和7年度 選抜方法 詳細は「令和7年度三重県立高等学校入学選抜に関する各高等学校別実施要項」を参照

設置学科と定員			総合学科 定員 80 名（前期選抜 100％） ※令和 6 年 4 月入学者人数：74 名
検査内容	前期選抜	作文	あり（45 分・600 字程度）
		面接	あり（個人面接：15 分程度） ※志望理由、中学校の振り返り、高校生活への抱負、進路希望等 小論文・実技検査・学力検査は実施しない
	後期選抜		実施しない
	再募集選抜		入学定員に達していない場合は実施する。検査内容は前期選抜と同様
	選抜において重視する要件		○総合学科の学習に強く興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組める者 ○スポーツ活動・文化活動・生徒会活動等に積極的に取り組める者 ○寮・学校において協調性をもち、規律正しい集団生活をしていける者

諸経費 令和6年度入学生の場合

入学時の主な費用	制服：Ⅰ型（41,500 円～）・Ⅱ型（38,000 円～） 教科書等：14,469 円 体操服等：23,850 円 スリッパ・校章 2,500 円 入寮費：30,000 円 県立学校入学時に購入する学習端末：47,190 円～48,565 円 ほか
毎月の費用	学校納付金（PTA 会費・学年費・旅行積立金等）12,400 円/月 寮費 46,500 円/月 ※物価高騰対応のため令和7年度に変更予定です （朝食/昼食/夕食/光熱水費等。土日祝日の3食含む。寮費 558,000 円/年） ※長期休業中は閉寮になります。長期休業中以外の月は閉寮日があります。 授業料 9,900 円（就学支援金より全額支給の場合あり）※三重県立高校共通

進路状況・その他

進路状況	卒業生 人数	進学			就職		
		四大	短大	専門等	一般企業	公務員	自営等
令和3年度	58	10	1	19	22	2	4
令和4年度	47	8	5	13	21	0	0
令和5年度	45	10	2	13	20	0	0

《令和5年度》

- ・求人数：県内 256、県外 263
- ・就職者数：県内 17、県外 3

制服の有無と型	あり。普段の服装は自由。行事等で制服登校日を設定。	型	Ⅰ型	ブレザー・スラックス・タイ・シャツ
			Ⅱ型	ブレザー・スカート・スラックス・タイ・ブラウス

生徒寮きくら	<設 備>
	・全室冷暖房完備 ・全棟（共用棟・男女棟）（県立学校入学時に購入する学習端末用 Wi-Fi 完備） ・部 屋：1 人部屋（3 年生）または 2 人部屋（1～2 年生） ・生活棟（男子棟・女子棟）：浴室、洗濯室、談話室、給湯室 ・共用棟：大食堂（フリー Wi-Fi 完備）、保健室、プレイルーム（楽器類練習室）、寮事務室、チュータールーム（学習室・学習端末用 Wi-Fi 完備）、
	<生 活>
	・食 事：朝昼夜とも、業者（魚国）の管理栄養士による栄養バランスを考えた献立 ・安 全：警備保障会社による警備を導入し、安全を確保 ・学習タイム：寮内で全員が自主的な学習を行う時間を設定 ・閉寮日：学期内年間 20 日程度と春・夏・冬の長期休業期間…寮生は原則帰宅

部活動等	<運動部> 硬式野球、サッカー、テニス、男子バスケットボール、卓球、ボート
	<文化部> コンピュータ、茶道、美術、邦楽、インターアクト
	<サークル> リバティ&ピース（人権問題研究会）、プラスバンド、環境科学
	<寮サークル活動> パレーボール、バドミントン

昴学園高校 Q&A

Q1. どんな生徒を求めていますか？

本校の学校マネジメントシートにおける「4. 求める生徒像」には、次の3つの姿を示しています。

- 本校の学習に強く興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組める生徒
- スポーツ活動・文化活動・生徒会活動等に積極的に取り組める生徒
- 寮・学校において協調性をもち、規律正しい集団生活をしていける生徒

系列の専門的な学び、部活動、自分探しなど、「昴学園でやりたいことがある生徒」に来てほしいと思います。学習面では、総合学科での学びを通して自分の進路を切り開きたいと思う生徒、寮生活では、食事や入浴は時間内で規則的な生活習慣を送りながら、洗濯や自室の掃除は自分自身で行い、点呼・清掃作業などは他の寮生と共に集団生活を送ることができる生徒を求めています。

Q2. どのような進路がありますか？

5つの系列の学びを生かした進学（大学・短期大学・専門学校）と就職が可能です。進学では、令和6年度入試で60件以上の大学、24件の短期大学、84件の専門学校から指定校推薦枠が寄せられました。就職では、県内・県外の企業からそれぞれ250件以上（計519件）の求人を頂きました。「卒業後に社会で活躍できるよう主体的に行動できる人材の育成」を目指し、キャリア教育プログラムに則って教育活動を行っています。

Q3. どのような生徒が在籍していますか？

県内外から、自然豊かな大台町で、都会の賑やかさと離れて学校生活を送る生徒が集まっています。男子寮生の約半数が野球部員で、甲子園を目指して活発に活動し、静かな山間に大きな声を響かせています。また、環境を変えたい、保護者の元を離れて自律した生活を送ってみたい、という生徒も在籍しています。

Q4. どのような学習支援が受けられますか？

本校は、寮から学校へ登校し、授業に出席して学習を深め、必要な単位を修得することで卒業となる全日制高校です。学習効果を高めるための少人数教育を行っていますが、個別・別室対応などは行いません。寮には舎監（教職員）はありますが、寮全体の生活指導や、寮務が主たる役割です。定期的にスクールカウンセラーが来校しており、相談することは可能ですが、生徒一人ひとりに支援の教職員がついたり、特別支援学級などの対応はありません。

Q5. 寮費はいくらですか？また、寮での生活についてもう少し詳しく教えてください

令和6年度の寮費は月額46,500円ですが、物価高騰の影響から5千～1万円程度の値上げを検討しています。月毎または半年毎で納入をして頂きますが、未払いが続く場合は退寮を求める場合があります。

1～2年生は2人部屋で生活をします。部屋中央にパーティション・カーテンがあり、プライバシーを保つことができます。山間部のため各部屋に電波が届きにくい場合がありますが、食堂ではフリーWi-Fiが使えます。23時から翌朝7時までは消灯となり、トイレや洗濯以外の理由で自室から出ることはできません。また、学校の始業から放課までは、昼食時の食堂を除き寮は施錠されますので、体調不良のときは学校の保健室にて休養をとり、回復が見込めない場合は、保護者に迎えをお願いしています。